



滝小だより

滝頭小学校学校だより 2021st

令和3年6月30日

7月号

横浜市立滝頭小学校

校長 鶴飼 数夫

手をつなごう 笑顔いっぱい 大好き滝小

Hand in hands, Shining Smiles, We ♥ TKG



〒235-0011 横浜市磯子区丸山 2-25-1 TEL 045-751-0344、0345

Fax 045-761-9392

URL: <http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/takigashira/>

滝頭小 検索

ピンチをチャンスに

校長 鶴飼 数夫

明日から7月ですが、梅雨真っ只中。毎日のように雨や曇りの日が続いています。校内では、数少ない日差しを受けながら生活科で育てているアサガオや野菜がぐんぐん伸びています。バケツ稲も水の中から青々とした葉を勢いよく出しています。

新型コロナウイルス（COVID-19）感染症の流行は再び拡大の兆候を見せ始めていますが、これからの季節は、感染症対策と熱中症予防のバランスを考え、特に体育学習時や中休み・昼休みでの激しい運動をするときは、マスクを外して、人との間隔をとるように指導しています。また、汗ふきや水分補給もしっかりと行っていきますので、汗ふきタオル、着替え用の肌着や水筒の準備についてご協力をお願いいたします。



6年生企画

たきがしらワンダーランド

「ロボットアームでボールひろい」

さて、先週は、本来ならば6年生の日光修学旅行が予定されていました。残念ながら、新型コロナウイルス感染症のまん延防止重点措置が延長されたため、9月に延期となりました。4月からずっと楽しみにしていたので、さぞ落胆していることと思いきや、校内に6年生の嬉々とした声が響き渡りました。日光に行く予定だった6月24日に、学年でレクリエーション集会を企画していたのです。名付けて「横浜滝頭村!たきがしらワンダーランド」。これは、修学旅行で行く予定の「日光江戸村」をモチーフに名付けたようで、校内に6ヶ所のゲームアトラクションを設置して、グループでこれに挑戦して回りながら得点を競うというものでした。場所は校庭や体育館、視聴覚室などですが、内容は、手裏剣・弓矢や忍者走りなど「江戸」のイメージにこだわった洒落っ気たっぷりのものです。豆つかみコーナーでは、飛んでいるハエを箸でつかんだという伝説をもつ宮本武蔵の肖像も登場しました。この企画、先生と子どもたちがアイデアを持ち寄り、話し合っ決めて、準備も運営も子どもたちが中心になって行いました。なによりもすばらしかったのは、全員が協力しながら真剣に楽しみ、大変盛り上がっていたということです。これを機に、より一層6年生の仲がよくなりました。修学旅行は延期になりましたが、その分、楽しみは倍になりました。「ピンチをチャンスに」逆境でもへこたれず前を向く、6年生の子どもたちと先生方のたくましさとしなやかさに脱帽です。

先月号でお知らせした「GIGAスクール構想」の展開も、同じく「ピンチをチャンスに」とも言えます。この1ヶ月で、全ての学年・クラスでi-padの活用が進んでいます。その広がりやスピードには目を見張るものがあり、活用の場面は教室での学習だけでなく、体育学習での校庭や体育館、まちたんけんなどの校外学習などにも広がっています。まだアルファベットを習っていない低学年では、最初のID入力に手こずっていましたが、2回目からは問題なくスムーズにログインできています。使い始めれば、先生の指示を待つまでもなく、どんどん自分自身の力で使い方を身につけていきます。高学年では、自分の考えを練り上げたり、一時間の授業を振り返ったりする思考ツールとして活用しています。今後、他校や外部機関とのリアルタイムでの通信を使ったコミュニケーションなど、可能性は限りなく広がります。

しかし、これをもって、学校と家庭をつなぎながら遠隔で授業をする「オンライン授業」がすぐに実現するかというと、そんなに簡単にはいきません。各家庭の通信回線や使用端末管理の問題、持ち帰りや使用上のルールの構築など、越えなければならない壁がたくさんあります。でも、このコロナ禍というピンチでつかんだチャンスを手放すことなく、ビッグチャンスにつなげられるようにじっくりと行きたいと思います。